Ⅰ　獣医学研究科・獣医学部の概要

1. 理念・目標

(1) 大学院獣医学研究科

教育研究の理念と目標	獣医学研究科の教育研究理念は，世界をリードする獣医学・動物医科学研究を実践し，倫理観と豊かな人間性を備える優れた獣医学研究者・獣医療人を育成することを通して，ヒトと動物の健康と健全な生活環境の維持，地球環境の保全，科学技術の発展に貢献することである。この理念の実現のために，獣医学・動物医科学に関する高度で先進的，専門的な知識・技術に加え，広い視野，柔軟な発想力と総合的な判断力を養い，もって我が国のみならず世界の獣医科学の発展に寄与できる実践的な能力と指導力を備えた人材を育成することを目標とする。
アドミッションポリシー （入学者受け入れ方針）	**【教育目標】** 獣医学研究科は，動物とヒトの健康と健全な生活環境の維持，生態系の保全，ならびに生命科学に関する教育研究を行うことにより，獣医療と動物医科学に関する広い視野，柔軟な発想力および総合的な判断力を養い，もって我が国のみならず世界の獣医科学の発展に寄与できる実践的な能力と指導力を備えた人材を育成することを目的とする。 **【アドミッションポリシー】** 学内外を問わず獣医学の学位を取得しようとする強い意志を持つ学部学生及び社会で活躍しながら博士の学位取得を目指す人材を選抜しており，さらに国際性の観点から，外国人留学生も積極的に受け入れています。 本研究科へは，4 月あるいは 10 月に入学することができ，入学試験では専門と語学に関する筆答試験と研究能力を評価する口述試験を実施します。
ディプロマポリシー （学位授与方針）	大学院獣医学研究科は，本学の 4 つの基礎理念（フロンティア精神，国際性の涵養，全人教育，実学の重視）の下，動物とヒトの健康と健全な生活環境の維持，生態系の保全，ならびに生命科学に関する教育研究を行うことにより，獣医療と動物医科学に関する広い視野，柔軟な発想力および総合的な判断力を養い，もって我が国のみならず世界の獣医科学の発展に寄与できる実践的な能力と指導力を備えた人材の育成を教育目標としています。 大学院獣医学研究科では，この目標とする人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）を博士課程獣医学専攻において定め，当該能力を身につけ，かつ所定の単位を修得し，学位論文の審査及び試験に合格した者に博士の学位を授与します。 **獣医学専攻の学位授与水準** 獣医学専攻では，獣医学研究科の教育目標に基づき，動物およびヒトの健康，および生態系の健全性維持のために，獣医科学を修めた専門家として，One Health の実現のために国際舞台でリーダーシップを発揮できる，俯瞰性，実践力，総合的な判断力を持った専門家（となる人材）の育成を目標としており，次の能力を持つと認められる者に対し，博士の学位を授与します。 ・獣医科学および関連領域における学術基盤と幅広い視野を有している。 ・獣医科学および関連領域における高度な専門的知識，技術を有し，それらを研究等に実践応用できる。 ・問題の全体像を俯瞰できる能力および困難な問題の解決を可能とする洞察力と柔軟な発想力を有している。 ・One Health の実現のために国際舞台でリーダーシップを発揮できる。

カリキュラムポリシー （教育課程編成・ 実施の方針）	大学院獣医学研究科は，学位授与方針に掲げる人材を養成するため，獣医学専攻の教育課程を編成・実施します。 **獣医学専攻の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）** 獣医学専攻では，学位授与水準に定めた能力を持つ人材の育成を目標として，次の特色ある取り組みによりカリキュラムを編成し，実施します。 **【獣医科学の幅広い学術基盤の修得】** 獣医科学および関連領域における学際的な視野と学術基盤を修得するため，「獣医科学基礎科目群」を開講します。「獣医科学」の専門領域のみならず，総合的・学際的な知識を身につけられるよう，本学で開講している「大学院共通科目」および「大学院理工系専門基礎科目」を修了単位として認定しています。 **【英語能力の向上】** 国際舞台で活躍するための英語力を修得するため，少人数制クラスでの英会話および英語によるプレゼンテーション能力を高めることを目的とした「アカデミックイングリッシュ」を開講します。 **【獣医科学における高度な専門性の修得】** ・獣医科学および関連領域の学術基盤を基礎として，獣医科学に関する高度な専門知識および技術を修得することを目的とした，「先端獣医科学特論」を開講します。 ・人獣共通感染症対策およびケミカルハザード対策の専門家養成を目的としたコースを設置します。専門家として必要な知識と技術の修得を目的として，「人獣共通感染症来策専門特論」および「ケミカルハザード対策専門特論」を開講します。 **【国際舞台で活躍できる実践力の養成】** ・専門性を必要とする海外の現場での演習として「海外実践疫学演習／海外共同研究演習」を実施して，国際舞台での実践力を養成します。 ・国際的機関までを視野に入れたキャリアパス支援を目的として，「海外／国内インターンシップ」を実施します。 **【博士論文作成のためのきめ細かい指導体制による総合的研究能力の養成】** ・自立した研究者に必要となる問題発見・問題解決力と論文作成能力を修得するため，「獣医科学特別研究」を開講し，博士論文研究を支援します。 ・リサーチアドバイザー制度による所属研究室の枠を超えたきめ細かい指導体制により，博士論文研究の推進を支援します。 ・年度末研究報告会を公開で実施します。より広くアドバイスを受ける機会となるとともに，英語による発表・質疑応答を通じて，国際舞台で活躍できる能力の育成を図ります。 **【博士人材としての総合力の養成】** ・大学院学生が主体的に企画運営する研究討論会，講演会，国際学術集会等の開催を通じて，コミュニケーション能力，企画運営能力を養います。 ・TA・RA 業務等を通じて，将来，優れた教育者・研究者になるためのトレーニングの場を提供します。

(2) 獣医学部

教育理念と目標	獣医学部の教育理念は，高い倫理観と豊かな人間性を備え，国内外の獣医学・獣医療における指導的立場に立てる科学実践者としての獣医師・獣医学士を育成して獣医学・獣医療に対する世界と国内社会の要請に応え，これを通して人類社会と地球環境の健康・健全化に貢献することである。この理念を実現するために，国際水準の実践的な教育を行うとともに，動物の病気の診断・治療・予防に加え，安全な動物性食品の供給，医薬品開発，基礎生命科学，野生動物の保護・管理と人獣共通感染症の制圧など，多様な分野で自ら問題を見出し解決に導く科学的思考力と判断力を獲得できる人材の育成を目標とする。
アドミッションポリシー （入学者受け入れ方針）	**【学部の理念】** 北海道大学獣医学部は，地球上の全ての動物生命に責任を負う自然科学としての獣医学を背景に，動物の病気の診断・治療・予防にとどまらず，安全な動物性食品の供給，医薬品の開発，生物科学への貢献，野生動物の保護・管理と人獣共通感染症の制圧など，獣医学に対する社会の多様な要請に応えうる獣医師を養成することを理念としている。 **【教育目標】** 本学部は，動物の健康の保持増進，公衆衛生の向上，食の安全及び生命科学の発展に寄与するために，獣医学に関する専門的な知識及び技術を教授することにより，豊かな人間性，高い生命倫理観及び国際的視野を備えた獣医師及び獣医学に関する創造性を有する研究者を養成する。 ①獣医師としての任務を遂行するための論理性及び倫理性に裏打ちされた行動規範を身につけることができる。 ②動物疾病の予防・診断・治療，動物の健康の維持増進，公衆衛生等に関する卓越した知識・技能を持つことができる。 ③安定的な食料供給，家畜及び畜産物の安全確保，人獣共通感染症対策など地球規模の課題の解決に貢献するための国際的視点と知識・技能を持つことができる。 ④最先端の生命科学研究に触れ，生命現象に関する新たな発見や医薬品の開発などにおいて獣医学を基礎とした課題解決能力と国際的な活動を実践する能力を身につけることができる。 **【求める学生像】** ・動物を愛するとともに，動物を科学的視点から客観的に観察することのできる学生 ・生命現象に対して，畏敬の気持ちと科学的な探究心をもつ学生 ・獣医学を通じて社会的，国際的に貢献したいと考える学生
ディプロマポリシー （学位授与方針）	獣医学部では，本学の４つの基礎理念（フロンティア精神，国際性の涵養，全人教育，実学の重視）の下，多様な獣医学の社会的使命を理解し，高い動物生命倫理観，科学的な思考力と判断力および国際的な視野を備えた，創造性と人間性豊かな獣医師となる人材を育成することを教育目標としています。獣医学部では，この目標とする人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）を帯広畜産大学と連携して編成した共同獣医学課程において定め，当該能力を身につけ，かつ，所定の単位を修得した学生に学士の学位を授与します。 **共同獣医学課程の学位授与水準** 共同獣医学課程では，学部の教育目標に基づき，次の能力を持つと認められる学生に対し，学士の学位を授与します。 **【知識・理解および技能】** ・獣医師としての任務を遂行するための論理性及び倫理性に裏打ちされた行動規範を身につけている。 ・動物疾病の予防・診断・治療，動物の健康の維持増進，公衆衛生等に関する卓越した知識・技能を身につけている。

	・安定的な食料供給，家畜の衛生管理及び畜産物の安全確保，人獣共通感染症対策など地球規模の課題の解決に貢献するための国際的視点と知識・技能を身につけている。 ・最先端の生命科学研究に触れ，生命現象の新たな発見や医薬品の開発などにおいて獣医学を基礎とした課題解決能力と国際的な活動を実践する能力を身につけている。
カリキュラムポリシー （教育課程編成・ 実施の方針）	獣医学部では，多様な獣医学の社会的使命を理解し，高い動物生命倫理観，科学的な思考力と判断力および国際的な視野を備えた，創造性と人間性豊かな獣医師となる人材の育成という教育目標を達成するため，共同獣医学課程を設置しています。共同獣医学課程では，全学共通の「全学教育科目」と体系的に配置された「専門科目」をもって，6年間の学士課程における教育課程を編成します。本学部の専門科目については，教育課程編成・実施の方針を定め，育成する人材像に沿ったカリキュラムを編成し，実施します。 **共同獣医学課程の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）** 共同獣医学課程では，学位授与水準に定めた能力を持つ人材を育成することを目標として，以下のとおりカリキュラムを編成し，実施します。 ・主に1年次学生を対象とする全学教育科目では，専攻する分野にかかわらず，本学の学生であれば当然身につけておかなければならない共通の素養として，高いコミュニケーション能力，人間や社会の多様性への理解，独創的かつ批判的に考える能力，社会的な責任と倫理を身につけることを目的として，カリキュラムを編成します。具体的には「一般教育演習」,「総合科目」,「主題別科目」,「外国語演習」,「共通科目」に区分される教養科目（コアカリキュラム）を開講します。また，専門科目を学ぶ心構え，基礎知識を身につけることができるように，基礎科目を開講します。 ・2年次以降では，獣医学に関する専門性を深めるため，専門科目を開講します。専門科目では，獣医学の基礎・病態・応用及び臨床にわたる高度の知識と技術を教授することを目的として，4つの獣医学専門科目群（基礎獣医学科目，病態獣医学科目，応用獣医学科目，臨床獣医学科目）と獣医学関連科目群（獣医学導入科目，獣医師導入科目，畜産関連科目）から成る教育課程を編成します。なお一部の獣医学導入科目については，1年次より開講します。 ・2年次では，動物体内の仕組み，反応や病気の基礎的知識を習得するため，解剖学，生理学，生化学，薬理学，遺伝学，免疫学，放射線生物学，微生物学，実験動物学などの基礎獣医学科目や病態獣医学科目を配置します。 ・3年次では，動物の病気の原因となる因子やその解析手法の基礎を習得するために，ウイルス学，細菌学，原虫病学，寄生虫学，寄生虫病学，伝染病学，病理学などの病態獣医学科目や野生動物学を配置します。 ・4年次では，獣医学が広く社会的役割を果たす，あるいは社会の要請に応える応用技術を習得するために，食品栄養学，草地飼料学，家畜管理学などの畜産関連科目とともに，公衆衛生学，毒性学などの環境科学や食品衛生，疫学，人獣共通感染症に関する応用獣医学科目を配置します。さらに，外科学，内科学，繁殖学など臨床獣医学科目も開講し，原理に基づく獣医療の実践教育も実施します。 ・5年次および6年次では，主に臨床獣医学科目を配置し，附属動物病院などにおける獣医療の実際を体験する参加型臨床実習を実施します。また併せて，獣医師導入科目を開講し，動物福祉や獣医倫理・法規について習得します。さらに卒業後の職域や学生個々の興味ある学習・研究分野を考慮し，基礎・病態・応用及び臨床にわたるアドバンスト科目を配置し，将来の獣医師および獣医学研究者としての技能及び責任を身につけていきます。 ・また2年次～4年次では，課題解決能力と国際的な活動を実践する能力を習得するため，生物科学基礎演習（チュートリアル，獣医学英語演習など）を配置します。 ・農業共済組合での臨床実習や学生個人が企画立案して動物病院，牧場等で行う実習・職業体験等についても単位認定しています。

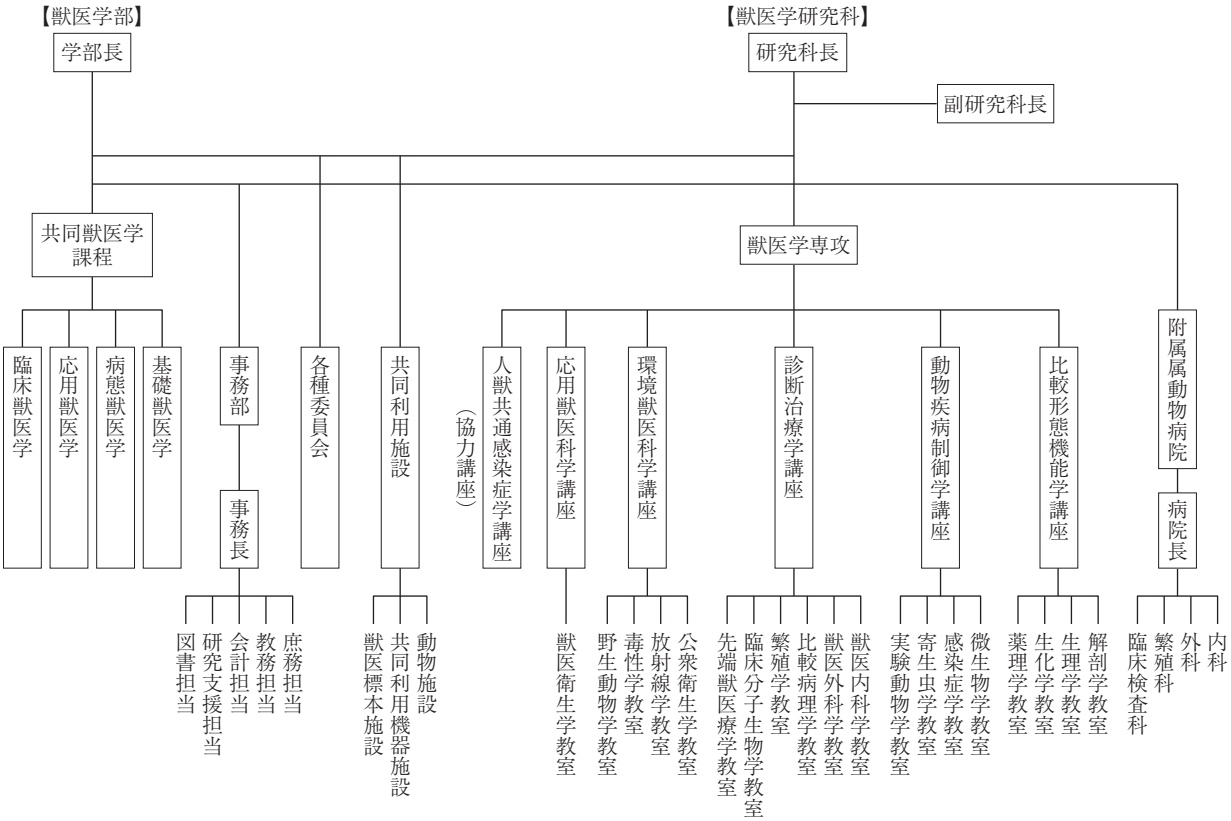
2. 沿革

明治 9年 8月14日	札幌学校開校 【本学創基】
9年 9月 8日	札幌学校を札幌農学校と改称
40年 9月 1日	札幌農学校を東北帝国大学農科大学と改称
40年 6月24日	畜産学科設置
43年 3月26日	獣医学講座 【講座設置】
44年 5月 2日	獣医学第二講座（獣医学講座を獣医学第一講座に改称）
45年 6月25日	家畜病院規程制定
大正 2年 6月30日	畜産学科を畜産学科第一部，同第二部に分離
7年 4月 1日	北海道帝国大学設置 東北帝国大学農科大学を北海道帝国大学農科大学と改称
8年 4月 1日	北海道帝国大学農科大学を北海道帝国大学農学部と改称
9年 9月14日	家畜衛生学講座を設置
11年 5月15日	比較病理学講座を設置
昭和19年12月19日	家畜解剖学講座を設置
21年 4月 1日	畜産学科第一部，同第二部を畜産学科に改称
22年10月 1日	北海道帝国大学は北海道大学となる
24年 4月 1日	獣医学科設置 【学科設置】
24年 5月31日	（新制）北海道大学設置（国立学校設置法公布）
25年 4月 1日	家畜生理学講座を設置
27年 4月 1日	獣医学部設置（獣医学科） 【学部設置】 家畜内科学（獣医学第一），家畜外科学（獣医学第二） 家畜衛生学，比較病理学，家畜解剖学，家畜生理学， 獣医公衆衛生学講座　の7講座を設置
28年 4月 1日	北海道大学大学院獣医学研究科設置 家畜生化学講座，家畜伝染病学講座を設置
28年 5月13日	獣医学研究科に予防治療学専攻，形態機能学専攻設置
28年 8月 1日	附属家畜病院設置（国立学校設置法の一部改正）
29年 4月 1日	家畜薬理学講座，家畜臨床繁殖学講座を設置
30年 7月 1日	家畜寄生虫病学講座を設置
39年 4月 1日	講座学科目省令（昭和39文部省令3号）（12講座）
44年 5月21日	獣医放射線学講座設置
59年 4月 1日	学校教育法の一部改正により獣医学部の修業年限は6年となる
61年 4月 1日	実験動物学講座設置

平成 2年 4月 1日	大学院設置基準の一部改正により獣医学研究科の修士課程は廃止され，博士課程の修業年限が4年となる
2年 6月 8日	毒性学講座設置
7年 4月 1日	大学院重点化による改組 ・大学院獣医学研究科（獣医学専攻：4大講座） 〇比較形態機能学講座　〇動物疾病制御学講座 〇診断治療学講座　〇環境獣医科学講座 臨床分子生物学教室，生態学教室を設置
13年 4月 1日	家畜病院は大学院獣医学研究科附属となる
15年 4月 1日	大学院獣医学研究科にプリオン病学講座新設
18年 4月 1日	大学院獣医学研究科に人獣共通感染症学講座（協力講座）新設
19年 4月 1日	附属家畜病院を附属動物病院に改称
20年 4月 1日	先端獣医療学教室を設置
21年 5月 1日	獣医学教育改革室を設置
22年 4月 1日	プリオン病学講座を応用獣医科学講座・獣医衛生学教室に改称
22年 7月 1日	生態学教室を野生動物学教室に改称
23年 4月 1日	国際連携推進室を設置
24年 4月 1日	北海道大学獣医学部・帯広畜産大学畜産学部共同獣医学課程を開始
25年 5月20日	附属動物病院（動物医療センター）の新築・開院
26年 4月 1日	診断治療学講座（寄附講座）を設置（平成28年3月31日まで）

3. 組織

(1) 獣医学研究科・獣医学部　組織図



(2) 役職員

平成 28 年 3 月末現在

役　職	氏　名	任　期
獣医学研究科長・獣医学部長	稲葉　　睦	平成 25 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
副研究科長	石塚真由美	平成 25 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
教育研究評議会評議員	昆　　泰寛	平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
附属動物病院長	滝口　満喜	平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

※各種委員会委員名簿は巻末の「参考資料」を参照

(3) 教員配置表

平成 28 年 3 月末現在

講座名	教室名	教授	准教授	講師	助教
比較形態機能学	解剖学	昆　泰寛	市居　修		
	生理学	葉原　芳昭		坂本健太郎	※ムスタファ　アミラ
	生化学	木村　和弘		岡松　優子	
	薬理学		乙黒　兼一		山口聡一郎
動物疾病制御学	微生物学	迫田　義博	岡松　正敏	松野　啓太	※日尾野隆大
	感染症学	大橋　和彦	今内　覚		村田　史郎
	寄生虫学	片倉　賢	加藤　大智	※ソウ　ボン	※中尾　亮
	実験動物学	安居院高志	森松　正美		※ハッサン　タグ　イルヂン
診断治療学	獣医内科学	滝口　満喜		大田　寛	佐々木　東
	獣医外科学	奥村　正裕	細谷　謙次		金　尚昊
	比較病理学	木村　享史	小林　篤史		青島　圭佑
	繁殖学	（片桐　成二）	永野　昌志		柳川洋二郎
	臨床分子生物学	稲葉　睦	佐藤　耕太		山﨑　淳平
	先端獣医療学		（高木　哲）		（中村　健介） （森下啓太郎） （星野　有希）
環境獣医科学	公衆衛生学	苅和　宏明	好井健太朗		※小林進太郎
	放射線学	稲波　修	山盛　徹		安井　博宣
	毒性学	石塚真由美	池中　良徳		中山　翔太 ※ヤレド　ベイエネ　ヨハネス ※アクソルン　サエンティエンチャイ
	野生動物学	坪田　敏男	下鶴　倫人		佐鹿万里子
	（講座付）	片桐　成二			水川　葉月
応用獣医科学	獣医衛生学	堀内　基広		長谷部理絵	山崎　剛士
診断病理学（寄附講座）		＊賀川由美子			※石﨑　禎太
附属動物病院			高木　哲		中村　健介 森下啓太郎 星野　有希 ※伊丹　貴晴 ※越後　良介 ※華園　究 ※石塚　友人
獣医教育改革室		（稲葉　睦）			※菊地　園江
国際連携推進室					※槇　由紀 ※マイケル　ジェームス　ヘンシャ

※印は特任教員，＊印は寄附講座教員（客員教授）

(4) 教職員数

平成 27 年 5 月 1 日現在

教　員			
職　種	教　員	特任教員	合　計
教授	17（1）	0	17（1）
准教授	15	0	15
講師	4（1）	1	5（1）
助教	14（4）	13（3）	27（7）
合　計	50（6）	14（3）	64（9）

（　）うち女性教員の人数

職　員		
事務職員	技術職員	合　計
14	3	17

外国籍職員数		
教員・特任教員	左記以外	合　計
5	0	5

契約職員・短時間勤務職員		
職　種		
契約職員	事務補佐員	4
	技術補佐員	0
	博士研究員	1
	特定専門職員	1
	獣医師	2
	計	8
短時間勤務職員	寄附講座教員	1
	事務補助員	18
	技術補助員	10
	学術研究員	0
	獣医師	2
	臨床研修獣医師	10
	動物看護士	10
	計	51
合　計		59

4. 中期目標・中期計画

(1) 大学院獣医学研究科

中期目標	中期計画
1. 教育に関する目標 (1) 獣医学研究科の教育理念を維持し深化させる 高度な技能と最先端の知識ならびに自然科学の広い分野についての知識を身に付け，世界的水準の研究を担い，社会的ニーズに応えてわが国のみならず，世界的にも広く活躍できる獣医科学研究者を養成する。	1. 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 魅力ある大学院教育イニシアティブで構築した「次世代の獣医科学研究者育成プログラム」を精査し，動物実験倫理教育を充実させる。
	(2) 高度化された診療診断技術の開発教育を取り入れる。
	(3) 国内外の大学・研究機関の外部講師による講義を充実させ，他大学とのカリキュラムの互換に努める。
	(4) 国際化に対応し，英語授業数の拡大，IT 授業や先端機器利用実習等を充実させる。
(2) 研究科の国際化を推進する	(1)「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」(平成 22～23 年度) による留学生（毎年 4 名）の受入れを継続する。
	(2) 日本人大学院生・研究生を先進国に長期派遣する（「若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム (ITP)」(平成 22 年度～平成 24 年度，毎年 2－4 名)。
(3) 充実した獣医科学教育の実施体制を高める	(1) 講義室・大学院演習室の充実を図るとともに，情報教育に適した機器の設置に努める。
	(2) 国際的な基準を満たした動物実験実習室や動物実験施設の整備をさらに進める。
	(3) 獣医学 FD 委員会を設置し，各教員の教育力の向上のため，定期的に大学院 FD を実施する。
2. 研究に関する目標 (1) 明確な目的のもとに研究を推進する 本学における獣医学研究の目的は動物の疾病と人獣共通感染症の診断，治療，予防法の研究ならび開発，生命科学への貢献，生物環境保全に対する貢献である。	2. 研究に関する目標を達成するためにとるべき措置 (1) 公募による教員人事を継続し，教育・研究共に優れた資質を持つ教員を採用する。
	(2) 大型プロジェクトを獲得するためのワーキンググループを随時立ち上げ，計画立案をおこなう。
	(3) 点検評価委員会の機能を充実させ，研究業績を点検できる体制を構築する。
(2) 常に高い水準を目指し研究を推進する 基礎獣医学，応用獣医学ならびに臨床獣医学分野での世界水準の先端的研究の展開し，基礎生命科学研究，動物疾病の解明と治療法の開発，自然環境保全などの社会的課題の解決のために積極的に寄与することを目指す。	(1) 研究成果の社会への還元のために，研究成果を国際的に評価の高い学術誌や著書，国際学会・シンポジウム等において積極的に発信する。
	(2) 学術振興会，文部科学省の科学研究費あるいは民間団体による競争的研究費助成へ積極的に申請する。

中期目標	中期計画
(3) 他部局・機関との連携研究を推進する 人獣共通感染症に関する研究拠点を形成し，人獣共通感染症の制圧に世界的規模で貢献するとともに，新たな学問分野を創成することを目標とする。	(1) 実験動物施設，共同利用施設ならびに共通機器を充実・整備し，円滑で柔軟な共同利用管理体制を構築する。
	(2) 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンターが推進する人獣共通感染症の診断と治療法及び予防対策に関連する研究プロジェクトや海外拠点形成・海外連携の取り組みなどに積極的に協力・支援を行う。
	(3) 国内外における共同研究活動の強化を推進し，平成20年度採択グローバルCOEプログラム「人獣共通感染症国際共同教育研究拠点の創成」等の重点課題に柔軟で機動的に取り組み，世界をリードする研究組織を構築する。
3　社会貢献・その他に関する目標 (1) 地域社会・国際社会に貢献する 獣医学研究科・獣医学部における教育・研究のレベルアップと，北海道地域に特徴的な産業・学術，動物疾病・感染症，環境保全への対応強化に努め，地域社会と国際社会に貢献する体制と環境の整備を進める。	3. 社会貢献・その他に関する目標を達成するためにとるべき措置 (1) 学内連携，北海道内大学間の連携，ならびに大学－学外獣医師間連携による北海道獣医学相互補完体制を構築し，研究科・学部における実践的教育・研究支援体制を強化して，より優秀な獣医師・獣医学研究者の育成に努める。
	(2) グローバルCOEの研修コース等を中心に，発展途上国の研究者や大学院学生を受け入れ，研究教育，あるいは技術指導を行う。また，ザンビア大学獣医学部等の研究・教育に対する国際協力を継続する。
(2) 附属動物病院組織を強化する 地域社会に高度，先進的な獣医療と獣医療情報を提供し，北海道の中核総合動物病院として動物と健全に共存する地域社会作りに貢献する。さらに，優れた臨床教育・臨床研究の実践をとおして，地域社会と国際社会の両者に通用する優秀な獣医師の育成に努める。	(1) 北海道地域獣医療の中核拠点となるべく，専門性や高度獣医療技術を備えたスタッフ及び診断機器の充実を図る。
	(2) 地域獣医師，獣医師会，他大学動物病院等との連携を図り，ウェブサイト内容を充実させ，診療の地域内協力体制強化に努める。

(2) 獣医学部

中期目標	中期計画
1. 教育に関する目標 (1) 獣医学部の教育理念を維持し深化させる 多様な獣医学の社会的使命を理解し，高い動物生命倫理観と科学的な学士力および国際的視野を備えた，創造性と人間性豊かな獣医師を養成する。	1. 教育に関する目標を達成するためにとるべき措置 (1) 獣医学の社会的使命を理解し高い動物生命倫理観を培うため，学部導入教育の内容を充実させる。
	(2) 科学的・論理的な学士力を備えた，創造性と人間性豊かな獣医師を養成するため，チュートリアル教育の充実に努め，問題解決能力および客観的臨床技能を付与する。
	(3) 国際的視野を備えた獣医師を養成するため，英語演習を実施する。
	(4) 幅広い学士力を教授するため，他大学との教育連携を深める。
(2) 入学者選抜に関し「獣医学を担う能力」を有する人材を選考する ＊「獣医学を担う能力」とは，①動物を愛するとともに，動物を科学的視点から客観的に観察することができる，②生命現象に対して，畏敬の気持ちと科学的な探究心をもつことができる，③獣医学を通じて社会的，国際的に貢献できる能力を言う。	(1) 入学希望者の一部に対し面接試験を実施し，「獣医学を担う能力」の有無を判断する。
	(2) 入学希望者の一部に対し「大くくり入試」を導入する。
(3) 充実した獣医学教育の実施体制を高める	(1) 講義室・演習室の充実を図る。
	(2) 国際的な基準を満たした動物実験実習室や動物実験施設の整備・維持に努める。
	(3) 獣医学 FD 委員会を設置し，定期的に FD を実施する。
	(4) 獣医師国家試験の高い合格率を維持するため，自学自習の可能な教育コンテンツを作製する。
2. 社会貢献・その他に関する目標 (1) 地域社会・国際社会に貢献する 獣医学部における教育のレベルアップと，北海道地域に特徴的な産業・学術，動物疾病・感染症，環境保全への対応強化に努め，地域社会と国際社会に貢献する体制と環境の整備を進める。	2. 社会貢献・その他に関する目標を達成するためにとるべき措置 (1) 学内連携，北海道内大学間の連携，ならびに大学－学外獣医師間連携による北海道獣医学相互補完体制を構築し，学部における実践的教育支援体制を強化して，より優秀な獣医師の育成に努める。
(2) 附属動物病院組織を強化する 地域社会に高度，先進的な獣医療と獣医療情報を提供し，北海道の中核総合動物病院として動物と健全に共存する地域社会作りに貢献する。さらに，優れた臨床教育・臨床研究の実践をとおして，地域社会と国際社会の両者に通用する優秀な獣医師の育成に努める。	(1) 北海道地域獣医療の中核拠点となるべく，専門性や高度獣医療技術を備えたスタッフ及び診断機器の充実を図る。
	(2) 地域獣医師，獣医師会，他大学動物病院等との連携を図り，ウェブサイト内容を充実させ，診療の地域内協力体制強化に努める。

5. 平成 26（2014）年度獣医学研究科・獣医学部学年暦

月		学部関係事項	大学院関係事項
平成 26 年 4 月	4. 1(火)～ 4(金)	新入生定期健康診断	
	4. 4(金)	学部 2 年次ガイダンス・対面式［午後 1 時半～］（講堂）	
	4. 4(金)	※（専門科目・大学院）前期授業開始【学部 4～6 年次，大学院のみ】	大学院授業科目のうち 1 年次対象科目は博士課程入学式（4 ／ 9）以降に開講
	4. 7(月)	（専門科目）前期授業開始【2・3 年次】 新入生オリエンテーション・総合教育部全体ガイダンス［午前 9 時半～12 時 15 分］ 新入生総合教育部学部移行ガイダンス・獣医学部 1 年次ガイダンス・対面式［午後 2 時半～］（講堂）	
	4. 8(火)	北海道大学入学式	
	4. 9(水)	新入生履修調整ガイダンス・教育情報システムガイダンス 定期健康診断（学部 2～6 年次）［午前中］	博士課程入学式及びオリエンテーション［午後 1 時半～］（会議室）
	4.10(木)	（全学教育科目）前期授業開始	
	4.14(月)		定期健康診断（大学院学生）［実施：午前］
	4.21(月)～ 4.25(金)	前期開講科目履修 WEB 登録受付	
	4.22(火)		（6 月修了予定　課程博士論文受理審査）
5 月	5. 7(水)		（6 月修了予定　課程博士学位論文発表会・審査会）
	5. 9(金)	※官公庁合同就職説明会　学部 4～6 年次午後休講（全学教育科目を除く）	
	5.19(月)	全学教育 6 講時授業開始（詳細は全学教育部予定表参照）	
	5.21(水)		（6 月修了予定　課程博士論文最終審査）
6 月	6. 5(木)～ 6. 8(日)	※開学記念行事日及び大学祭　休講	
	6.18(水)～25(水) （予定）		平成 27 年度 4 月　博士課程自学部外（日本人）特別選抜　入学願書受付
	6.26(木)	（全学教育科目）6 講時授業終了（詳細は全学教育部予定表参照）	
	6.30(月)		6 月修了者　獣医学研究科学位記授与式
7 月	7. 7(月)		（9 月修了予定　課程博士論文提出締切）
	7.15(火)～ 7.25(金)		平成 26 年度 10 月入学，平成 27 年度 4 月博士課程一般選抜　入学願書受付
	7.23(水)		（9 月修了予定　課程博士論文受理審査）
8 月	8. 1(金)～ 8. 8(金)	※後期研究生入学願書受付	
	8. 1(金)	（全学教育科目）初習外国語統一試験のため休講（専門科目・大学院は通常どおり）	
	8. 2(土)	オープンキャンパス（体験入学）	
	8. 3(日)	オープンキャンパス（自由参加プログラム）	
	8. 5(火)	（全学教育科目）前期授業終了	
	8. 6(水)		（9 月修了予定　課程博士学位論文発表会・審査会）
	8.15(金)	（専門科目）前期授業終了	
	8.16(土)～ 9.28(日)・ 9.25(木：全学)	※夏季休業日（全学教育は 9.26（金），専門科目・大学院は 9.29（月）から授業開始）	
	8.17(日)～ 8.23(土)	学部 1 年次　帯広基礎獣医学演習・農畜産演習（帯広） 学部 2 年次　札幌基礎獣医学演習・獣医学概論（札幌） ※移動日含む	
	8.26(火)～ 8.27(水)		平成 26 年度 10 月入学，平成 27 年度 4 月博士課程　入学試験
	8.27(水)		（9 月修了予定　課程博士論文最終審査）
9 月	9. 1(月)	※退学願〔単位修得退学を含む〕（9 月 30 日付け）・休学願・復学願（10 月 1 日付け）　教務担当窓口提出締切	
	9.24(水)～ 9.25(木)	SaSSOH2014	
	9.24(水)～ 9.25(木)	総合教育部向け移行ガイダンス・学部紹介	
	9.25(木)		9 月修了者学位記授与式
	9.26(金)	（全学教育科目）後期授業開始	
	9.29(月)	※（専門科目・大学院）後期授業開始（大学院授業科目のうち，1 年次対象科目は入学式（10 ／ 1）以降に開講）	
10 月	10. 1(水)		10 月入学　博士課程入学式［午後 1 時 30 分～］（会議室）
	10. 3(金)	※動物慰霊式　2 講時目休講（専門科目及び大学院）	
	10. 7(火)		（12 月修了予定　課程博士論文提出締切）
	10. 7(火)～10.14(火)	後期開講科目履修 WEB 登録受付	
	10.22(水)		（12 月修了予定　課程博士論文受理審査）
	10.28(火)予定	※防火訓練（11：30～）	
11 月	11. 7(金)	卒業論文題目等提出締切	
	11.10(月)		（12 月修了予定　課程博士学位論文発表会・審査会）
	11.28(金)	卒業論文提出締切	
	12. 1(月)～12. 4(木)	卒業論文回覧期間	
	11.25(火)		（12 月修了予定　課程博士論文最終審査）
	12. 5(金)～12. 9(火)	卒業論文閲覧期間	
12 月	12.10(水)	※卒業論文発表会　休講（学部［全学教育を除く］及び大学院）（講堂（終日））	
	12.22(月)～ 1. 6(火)		博士課程（第 2 次募集）入学願書受付
	12.25(木)		12 月修了者　獣医学研究科学位記授与式
	12.27(土)～ 1. 4(日)	※冬季休業日（全学教育は 12.26（金）から，専門科目・大学院は 12.27（土）から休業）	
平成 27 年 1 月	1. 5(月)	※授業再開	
	1. 7(水)		（3 月修了予定　課程博士論文提出締切）
	1.16(金)	（全学教育科目）休講（専門科目・大学院は通常どおり）	
	1.17(土)～ 1.18(日)	大学入試センター試験	
	1.19(月)～ 1.28(水)	※前期研究生入学願書受付（2 月教授会審議分・学部研究生等間に合わない者は，随時受付，3 月教授会審議）	
	1.23(金)	（専門科目）6 年次授業終了	
	1.26(月)～ 1.27(火)		博士課程（第 2 次募集）入学試験
	1.27(火)		（3 月修了予定　課程博士論文受理審査）
	1.28(水)	（全学教育科目）初習外国語統一試験のため休講（専門科目・大学院は通常どおり）	
	1.30(金)		（大学院授業科目）4 年次後期成績 WEB 入力締切【正午－厳守】
2 月	2. 2(月)	※ 3 月修了予定　課程博士論文発表会及び審査会　休講（学部［全学教育を除く］及び大学院）（講堂（終日））	
	2. 3(火)	（全学教育科目）後期授業終了	3 月修了予定　課程博士論文審査会（予備日）
	2. 4(水)～ 2. 5(木)	総合教育部向け移行ガイダンス・学部紹介	
	2. 9(月)	（全学教育科目）後期成績 WEB 入力締切【正午－厳守】	
	2.13(金)	4 年次教室配属願提出締切	（3 月修了予定　課程博士論文最終審査）
	2.17(火)	獣医師国家試験	
	2.23(月)	（専門科目）後期授業終了	
	2.24(火)～ 4. 5(日)	※春季休業日　（予定）	
	2.25(水)	北大第 2 次入学試験「前期日程」	
	2.26(木)	（専門科目）2～5 年次後期成績 WEB 入力締切【正午－厳守】	
	2.27(金)～ 3.19(木)	1 年次学部移行判定・手続き	
	2.27(金)	※退学願〔単位修得退学を含む〕（3 月 31 日付け）・休学願・復学願（4 月 1 日付け）　教務担当窓口提出締切	
3 月	3.12(木)	北大第 2 次入学試験「後期日程」	
	3.19(木)	1 年次獣医学部移行者確定	
	3.20(金)		年度末研究報告会
	3.25(水)	※北海道大学学位記授与式　学部（研究科）卒業（修了）式	

1）※は研究科，学部の共通事項　　2）平成 27 年度　前期授業開始日は 4 月 6 日（月）頃の予定

6. 平成 27（2015）年度獣医学研究科・獣医学部学年暦

H27.2 現在

月		学部関係事項	大学院関係事項
平成 27 年 4 月	4. 1(水)～ 4. 3(金)	新入生定期健康診断	
	4. 3(金)	学部２年次ガイダンス・対面式［午後１時半～］（講堂）	
	4. 6(月)	※（専門科目・大学院）前期授業開始　大学院授業科目のうち１年次対象科目は博士課程入学式（4 ／ 9）以降に開講	
	4. 6(月)		(6 月修了予定　課程博士論文提出締切)
	4. 7(火)	新入生オリエンテーション・総合教育部全体ガイダンス［午前９時半～12 時 15 分］	
		新入生総合教育部学部移行ガイダンス・獣医学部１年次ガイダンス・対面式［午後２時半～］（講堂）	
	4. 8(水)	北海道大学入学式	
		定期健康診断（学部２～６年次）［午前中］（未定）	
	4. 9(木)	新入生履修調整・登録ガイダンス・教育情報システムガイダンス	博士課程入学式及びオリエンテーション［午後１時半～］（会議室）
	4.10(金)	（全学教育科目）前期授業開始	
	4.13(月)		定期健康診断（大学院学生）［実施：午前］
	4.21(火)～ 4.27(月)	前期開講科目履修 WEB 登録受付	
	4.21(火)		(6 月修了予定　課程博士論文受理審査)
	4.30(木)		(9 月修了予定　学位論文題目・審査委員提出締切)
5 月	5.11(月)		(6 月修了予定　課程博士学位論文発表会・審査会)
	5.12(火)	※官公庁合同就職説明会　学部 4～6 年次午後休講（全学教育科目を除く）	
	5.18(月)	（全学教育科目）6 講時授業開始（詳細は全学教育部予定表参照）	
	5.25(月)		(6 月修了予定　課程博士論文最終審査，9 月修了予定　論文提出資格審査委員会設置)
6 月	6. 4(木)～ 6. 7(日)	※開学記念行事日及び大学祭　休講	
	6.13(土)(予定)	共用試験トライアル	
	6.17(水)～24(水)(予定)		平成 28 年度４月　博士課程自学部外（日本人）特別選抜　入学願書受付
	6.25(木)	（全学教育科目）6 講時授業終了（詳細は全学教育部予定表参照）	
	6.30(火)		6 月修了者　獣医学研究科学位記授与式
7 月	7. 7(火)		(9 月修了予定　課程博士論文提出締切)
	7.17(金)～ 7.27(月)		平成 27 年度 10 月入学，平成 28 年度４月博士課程一般選抜　入学願書受付
	7.22(水)		(9 月修了予定　課程博士論文受理審査)
	7.31(金)		(12 月修了予定　学位論文題目・審査委員提出締切)
	7.31(金)～ 8. 7(金)	※後期研究生入学願書受付	
8 月	8. 1(土)	オープンキャンパス（体験入学）	
	8. 2(日)	オープンキャンパス（自由参加プログラム）	
	8. 5(水)		(9 月修了予定　課程博士学位論文発表会・審査会)
	8. 6(木)	（全学教育科目）初習外国語統一試験のため休講（専門科目・大学院は通常どおり）	
	8. 6(木)	（全学教育科目）前期授業終了	
	8.14(金)	（専門科目）前期授業終了	
	8.15(土)～ 9.27(日)	※夏季休業日（全学教育，専門科目・大学院　すべて 9.28（月）から授業開始）	
	8.17(月)～ 8.22(土)	学部１年次　帯広基礎獣医学演習・農畜産演習（帯広） 学部２年次　札幌基礎獣医学演習・獣医学概論（札幌） ※移動日含む	
	8.26(水)～ 8.27(木)		平成 27 年度 10 月入学，平成 28 年度４月博士課程　入学試験
	8.27(木)		(9 月修了予定　課程博士論文最終審査，12 月修了予定　論文提出資格審査委員会設置)
	8.31(月)	※退学願〔単位修得退学を含む〕(9 月 30 日付け)・休学願・復学願（10 月１日付け）教務担当窓口提出締切	
9 月	9. 7(月)～ 9. 9(水)	（参考）獣医学会学術集会　［十和田］	
	9.16(水)～ 9.17(木)	SaSSOH2015（予定）	
	9.24(木)～ 9.25(金)	総合教育部向け移行ガイダンス・学部紹介	
	9.25(金)		9 月修了者学位記授与式
	9.28(月)	※（全学教育科目・専門科目・大学院）後期授業開始（大学院授業科目のうち，１年次対象科目は入学式（10 ／ 1）以降に開講）	
10 月	10. 1(木)		10 月入学　博士課程入学式［午後１時 30 分～］（会議室）
	10. 2(金)	※動物慰霊式　2 講時目休講（専門科目及び大学院）	
	10. 5(月)		(12 月修了予定　課程博士論文提出締切)
	10. 6(火)～10.13(火)	後期開講科目履修 WEB 登録受付	
	10.20(火)		(12 月修了予定　課程博士論文受理審査)
	10.27(火)	※防火訓練（11：30～）〔予定〕	
	10.30(金)		(3 月修了予定　学位論文題目・審査委員提出締切)
11 月	11. 6(金)	卒業論文題目等提出締切	
	11.10(火)		(12 月修了予定　課程博士学位論文発表会・審査会)
	11.25(水)		(12 月修了予定　課程博士論文最終審査，3 月修了予定　論文提出資格審査委員会設置)
	11.27(金)	卒業論文提出締切	
	11.30(月)～12. 3(木)	卒業論文回覧期間	
12 月	12. 4(金)～12. 8(火)	卒業論文閲覧期間	
	12. 9(水)	※卒業論文発表会　休講（学部［全学教育を除く］及び大学院）（講堂（終日））	
	12.24(木)～ 1. 4(月)		博士課程（第２次募集）入学願書受付
	12.25(金)		12 月修了者　獣医学研究科学位記授与式
	12.26(土)～ 1. 4(月)	※冬季休業日（全学教育科目・専門科目・大学院　すべて同一）	
平成 28 年 1 月	1. 5(火)	※授業再開	
	1. 7(木)		(3 月修了予定　課程博士論文提出締切)
	1.15(金)	（全学教育科目）休講（専門科目・大学院は通常どおり）	
	1.16(土)～ 1.17(日)	大学入試センター試験	
	1.18(月)～ 1.27(水)	※前期研究生入学願書受付（2 月教授会審議分。間に合わない者については随時受付し，3 月教授会審議）	
	1.22(金)	（専門科目）6 年次授業終了	
	1.26(火)		(6 月修了予定　学位論文題目・審査委員提出締切)
	1.26(火)～ 1.27(水)		博士課程（第２次募集）入学試験
	1.27(水)		(3 月修了予定　課程博士論文受理審査)
	1.27(水)	（全学教育科目）初習外国語統一試験のため休講（専門科目・大学院は通常どおり）	
2 月	2. 2(火)	※３月修了予定　課程博士論文発表会及び審査会　休講（学部［全学教育を除く］及び大学院）（講堂（終日））	
	2. 3(水)	（全学教育科目）後期授業終了	3 月修了予定　課程博士論文審査会（予備日）
	2. 4(木)～ 2. 5(金)	総合教育部向け移行ガイダンス・学部紹介	
	2.10(水)	（全学教育科目）後期成績 WEB 入力締切	
	2.12(金)	4 年次教室配属願提出締切	(3 月修了予定　課程博士論文最終審査，6 月修了予定　論文提出資格審査委員会設置)
	2.16(火)	獣医師国家試験	
	2.18(木)	（専門科目）後期授業終了	
	2.19(金)	※春季休業日　（予定）	
	2.25(木)	北大第２次入学試験「前期日程」	
	2.29(月)～ 3.18(金)	１年次学部移行判定・手続き	
	2.29(月)	※退学願〔単位修得退学を含む〕(3 月 31 日付け)・休学願・復学願（4 月１日付け）教務担当窓口提出締切	
3 月	3.10(木)		年度末研究報告会（大学院１～2 年次）
	3.12(土)	北大第２次入学試験「後期日程」	
	3.18(金)	１年次獣医学部移行者確定	
	3.24(木)	※北海道大学学位記授与式　　学部（研究科）卒業（修了）式	

1）※は研究科，学部の共通事項　2）平成 28 年度　前期授業開始日は４月５日（火）頃の予定